

## (旧)

### 2-3 ICT活用工事

ICT活用工事の出来形管理を行った場合の出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、愛知県の定める「ICT活用工事(土工)実施要領」、「ICT活用工事(舗装工)実施要領」、「ICT活用工事(舗装工(修繕工))実施要領」、「ICT活用工事(河川浚渫)実施要領」、「ICT活用工事(作業土工(床堀))実施要領」、「ICT活用工事(付帯構造物設置工)実施要領」、「ICT活用工事(法面工)実施要領」、「ICT活用工事(地盤改良工)実施要領」、「ICT浚渫工(港湾)実施要領」、「ICT基礎工(港湾)実施要領」及び「ICTブロック据付工(港湾)実施要領」の規定によるものとする。

### 2-4 写真の省略

工事写真は以下の場合に省略するものとする。

- (1) 品質管理写真について、公的機関等(土木工事現場必携第6章資料6-25公的機関等一覧表参照)で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略するものとする。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略するものとする。
- (3) 監督員が臨場して段階確認した箇所は出来形管理写真の撮影を省略する。臨場時の状況写真は不要。

### 2-5 写真の編集等

写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。ただし、『デジタル工事写真の小黑板情報電子化の運用について』(平成29年3月1日付け、28建企第505号に基づく小黑板情報の電子的記入は、これに当たらない。

### 2-6 撮影の仕様

写真の色彩やサイズは以下のとおりとする。

- (1) 写真はカラーとする。
- (2) 有効画素数は小黑板の文字が判読できることを指標とする。  
(100万画素程度～300万画素程度＝1,200×900程度～2,000×1,500程度)

映像と読み替える場合は、以下も追加する。

- (3) 夜間など通常のカメラによる撮影が困難な場合は、赤外線カメラを用いる等確認可能な方法で撮影する。
- (4) フレームレートは、実速度で撮影する場合は、30fps程度を基本とする。高倍速での視聴を目的とする場合は、監督員と協議の上、撮影時に必要な間隔でタイムラプス映像を撮影することができる。

## (新)

### 2-3 ICT活用工事

ICT活用工事の出来形管理を行った場合の出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、愛知県の定める「ICT活用工事(土工)実施要領」、「ICT活用工事(舗装工)実施要領」、「ICT活用工事(舗装工(修繕工))実施要領」、「ICT活用工事(河川浚渫)実施要領」、「ICT活用工事(作業土工(床堀))実施要領」、「ICT活用工事(付帯構造物設置工)実施要領」、「ICT活用工事(法面工)実施要領」、「ICT活用工事(地盤改良工)実施要領」、「ICT浚渫工(港湾)実施要領」、「ICT基礎工(港湾)実施要領」、「ICTブロック据付工(港湾)実施要領」及び「ICT海上地盤改良工：床掘工・置換工編(港湾)」の規定によるものとする。

### 2-4 写真の省略

工事写真は以下の場合に省略するものとする。

- (1) 品質管理写真について、公的機関等(土木工事現場必携第6章資料6-37公的機関等一覧表参照)で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略するものとする。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略するものとする。
- (3) 監督員が臨場して段階確認した箇所は出来形管理写真の撮影を省略する。臨場時の状況写真は不要。

### 2-5 写真の編集等

写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。ただし、『デジタル工事写真の小黑板情報電子化の運用について』(平成29年3月1日付け、28建企第505号に基づく小黑板情報の電子的記入は、これに当たらない。

### 2-6 撮影の仕様

写真の色彩やサイズは以下のとおりとする。

- (1) 写真はカラーとする。
- (2) 有効画素数は小黑板の文字が判読できることを指標とする。  
(100万画素程度～300万画素程度＝1,200×900程度～2,000×1,500程度)

映像と読み替える場合は、以下も追加する。

- (3) 夜間など通常のカメラによる撮影が困難な場合は、赤外線カメラを用いる等確認可能な方法で撮影する。
- (4) フレームレートは、実速度で撮影する場合は、30fps程度を基本とする。高倍速での視聴を目的とする場合は、監督員と協議の上、撮影時に必要な間隔でタイムラプス映像を撮影することができる。

## (旧)

### 2-7 留意事項等

別紙撮影箇所一覧表の適用について、以下の事項に留意するものとする。

- (1) 代表写真選定頻度とは、撮影頻度に基づき撮影した工事写真のうち、**愛知県 デジタル写真管理情報基準(案) 3** 写真管理項目の代表写真として選定する枚数をいう。なお、代表写真の選定については、監督員の**承諾**を得るものとする。
- (2) 「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督員の**指示**により追加、削減するものとする。
- (3) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法(上墨寸法含む)が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
- (4) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図(撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など)を参考図として作成する。
- (5) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督員と写真管理項目を**協議**のうえ取扱いを定めるものとする。

### 3. 整理提出

撮影箇所一覧表の「撮影頻度」に基づいて撮影した写真原本を電子成果品に格納し、監督職員に提出するものとする。

写真ファイルの整理及び電子成果品への格納方法(各種仕様)は「**愛知県デジタル写真管理情報基準(案)**」に基づくものとする。

なお、電子成果品で提出しない場合は、「**フィルムカメラを使用した場合の写真管理基準(案)(国土交通省)**」による。

### 4. その他

#### 4-1 工事写真帳

標準仕様書第7編第13章道路維持における道路維持補修工事等の指示票による工事、または監督員の**指示**による場合は、工事写真は電子成果品に代えて工事写真帳で**提出**することができるものとする。

工事写真帳で提出する工事写真の提出部数及び形式は、次によるものとする。

- (1) 写真の大きさは、サービスサイズ程度とする。ただし、監督員が**指示**するものは、その**指示**した大きさとする。
- (2) 工事写真帳はA4版とし、工事完了時に1部**提出**する。
- (3) 工事写真帳の整理については、工種毎に別紙撮影箇所一覧表の撮影頻度を示すものを標準とする。
- (4) 小黒板の判読が困難となる場合は、別紙に必要事項を記入し、写真に添付して整理する。

#### 4-2 用語の定義

撮影箇所一覧表の用語の定義

- (1) 代表箇所とは、当該工種の代表箇所とその仕様が確認できる箇所をいう。
- (2) 適宜とは、**設計図書**の仕様が写真により**確認**できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。
- (3) 不要とは、「**愛知県デジタル写真管理情報基準(案)**」の写真管理項目にある「代表写真選定頻度」に該当しないことをいう。

## (新)

### 2-7 留意事項等

別紙撮影箇所一覧表の適用について、以下の事項に留意するものとする。

- (1) 「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督員の**指示**により追加、削減するものとする。
- (2) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法(上墨寸法含む)が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
- (3) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図(撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など)を参考図として作成する。
- (4) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督員と写真管理項目を**協議**のうえ取扱いを定めるものとする。

### 3. 整理提出

撮影箇所一覧表の「撮影頻度」に基づいて撮影した写真原本を電子成果品に格納し、監督職員に提出するものとする。

写真ファイルの整理及び電子成果品への格納方法(各種仕様)は「**愛知県デジタル写真管理情報基準(案)**」に基づくものとする。

### 4. その他

#### 4-1 工事写真帳

標準仕様書第7編第13章道路維持における道路維持補修工事等の指示票による工事、または監督員の**指示**による場合は、工事写真は電子成果品に代えて工事写真帳で**提出**することができるものとする。

工事写真帳で提出する工事写真の提出部数及び形式は、次によるものとする。

- (1) 写真の大きさは、サービスサイズ程度とする。ただし、監督員が**指示**するものは、その**指示**した大きさとする。
- (2) 工事写真帳はA4版とし、工事完了時に1部**提出**する。
- (3) 工事写真帳の整理については、工種毎に別紙撮影箇所一覧表の撮影頻度を示すものを標準とする。
- (4) 小黒板の判読が困難となる場合は、別紙に必要事項を記入し、写真に添付して整理する。

#### 4-2 用語の定義

撮影箇所一覧表の用語の定義

- (1) 適宜とは、**設計図書**の仕様が写真により**確認**できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。
- (2) **フィルムカメラを使用した撮影～提出とする場合は、「写真管理基準」を参考に監督員と提出頻度等の協議の上、取り扱いを定めるものとする。**

(旧)

共通 撮影箇所一覧表

区分		写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
着手前・完成	着手前	全景又は代表部分写真	着手前1回 〔着手前〕	着手前1枚	
	完成	全景又は代表部分写真	施工完了後1回 〔完成後〕	施工完了後1枚	
施工状況	工事施工中	全景又は代表部分の工事進捗状況	月1回 〔月末〕	不要	毎月5日までに提出の実施工程表に添付する。
		施工中の写真	別添「撮影箇所一覧表（品質管理）及び撮影箇所一覧表（出来形管理）」に準じて撮影。工種、種別毎に、設計図書、施工計画書に従い施工していることが確認できるように適宜	不要	品質管理写真及び出来形管理写真の区分の中で基本的に整理する。
	仮設（指定仮設）	使用材料、仮設状況、形状寸法	1 施工箇所に1回 〔施工前後〕	代表箇所1枚	創意工夫・社会性等に関する実施状況が確認できるように適宜 〔施工中〕
	図面と現地との不一致	図面と現地との不一致の写真	必要に応じて 〔発生時〕	不要	工事打合簿に添付する。
		ただし、「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は、撮影毎に1回〔発生時〕	ただし、「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は、写真測量に使用したすべての画像（ICONフォルダに格納）		
		ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は、計測毎に1回〔発生時〕	ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上型レーザーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による場合は、計測毎に1回〔発生時〕		

(新)

共通 撮影箇所一覧表

区分		写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
着手前・完成	着手前	全景又は代表部分写真	着手前1回 〔着手前〕	
	完成	全景又は代表部分写真	施工完了後1回 〔完成後〕	
施工状況	工事施工中	全景又は代表部分の工事進捗状況	月1回 〔月末〕	毎月5日までに提出の実施工程表に添付する。
		施工中の写真	別添「撮影箇所一覧表（品質管理）及び撮影箇所一覧表（出来形管理）」に準じて撮影。工種、種別毎に、設計図書、施工計画書に従い施工していることが確認できるように適宜	品質管理写真及び出来形管理写真の区分の中で基本的に整理する。
	仮設（指定仮設）	使用材料、仮設状況、形状寸法	1 施工箇所に1回 〔施工前後〕	創意工夫・社会性等に関する実施状況が確認できるように適宜 〔施工中〕
	図面と現地との不一致	図面と現地との不一致の写真	必要に応じて 〔発生時〕	工事打合簿に添付する。
		ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」における空中写真測量（UAV）」による場合は、撮影毎に1回（写真測量に使用したすべての画像（ICONフォルダに格納））〔発生時〕	ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」における地上型レーザー（TLS）、地上移動体搭載型レーザー（LIS）、無人航空機搭載型レーザー（UAVレーザー）、TS等光波方式、RTK-GNSS」による場合は、計測毎に1回〔発生時〕	

※以降「代表写真 選定頻度」欄を削除



(旧)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度		
3 工事共 通編	1 土工	4 河川・ 海岸・ 砂防土 工	3		盛土工	巻出し厚	100mに1回 〔巻出し時〕	代表写真 各1枚	・出来映えの 撮影 ・TS等の設置 状況と出来形 計測対象点上 のプリズムの 設置状況(プ リズムが必要 な場合のみ) がわかるよう に撮影	
							「TS・GNSSを用 いた盛土の締固め管理 要領」における「締固 め層厚分布図」を提出 する場合は写真不要			
							締固め状況			転圧機械又は地質が変 わる毎に1回 〔締固め時〕
							法長 幅 ※右のいずれ かで撮影す る。			100m又は1 施工箇所 に1回 〔施工後〕
						「TS等光波方式を用 いた出来形管理要領(土工 編)(案)」、「TS(ノ ンプリズム方式)を用 いた出来形管理要領 (土工編)(案)」、 「RTK-GNSSを用 いた出来形管理要領 (土工編)(案)」、 「地上型レーザー キャナーを用いた出来 形管理要領(土工編) (案)」、「無人航空機 搭載型レーザーキャ ナーを用いた出来形管 理要領(土工編) (案)」、「地上移動体 搭載型レーザーキャ ナーを用いた出来形管 理要領(土工編) (案)」による場合は 1工事に1回 〔施工後〕				
						「空中写真測量(無人 航空機)を用いた出来 形管理要領(土工編) (案)」に基づき写真測 量に用いた画像を納品 する場合には、写真管 理に代えることが出来 る。				

(新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕			
3 工事共 通編	1 土工	4 河川・ 海岸・ 砂防土 工	3		盛土工	巻出し厚	100mに1回 〔巻出し時〕	代表写真 各1枚	・出来映えの 撮影 ・TS等の設置 状況と出来形 計測対象点上 のプリズムの 設置状況(プ リズムが必要 な場合のみ) がわかるよう に撮影	
							「TS・GNSSを用 いた盛土の締固め管理 要領」における「締固 め層厚分布図」を提出 する場合は写真不要			
							締固め状況			転圧機械又は地質が変 わる毎に1回 〔締固め時〕
							法長 幅 ※右のいずれ かで撮影す る。			100m又は1 施工箇所 に1回 〔施工後〕
						「3次元計測技術を用 いた出来形管理要領(案) 土工編 多点計測技術 (面管理の場合)」による場合は 1工事に1回 〔施工後〕				
						「3次元計測技術を用 いた出来形管理要領(案) 土工編 多点計測技術 (面管理の場合)」にお ける空中写真測量(UAV)」 に基づき写真測量に 用いた画像を納品する 場合には、写真管理に 代えることが出来る。				

(旧)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
3	1	4	4		盛土補強工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	厚さ	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表写真 各1枚	
3	1	4	5		堤防天端工	厚さ 幅	100mに1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
3	1	5	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所 各1枚	・出来映えの 撮影 ・TS等の設置 状況と出来形 計測対象点上 のプリズムの 設置状況(プ リズムが必要 な場合のみ) がわかるよう に撮影
						法長 ※右のいずれ かで撮影す る。	100m又は1施工箇所 に1回 〔掘削後〕		
							「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「無人航空機搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」による場合は1工事に1回 〔掘削後〕		

(新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要	
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕		
3	1	4	4		盛土補強工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	厚さ	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕		
3	1	4	5		堤防天端工	厚さ 幅	100mに1回 〔施工後〕		
3	1	5	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所 各1枚	・出来映えの 撮影 ・TS等の設置 状況と出来形 計測対象点上 のプリズムの 設置状況(プ リズムが必要 な場合のみ) がわかるよう に撮影
						法長 ※右のいずれ かで撮影す る。	100m又は1施工箇所 に1回 〔掘削後〕		
							「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)土工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は1工事に1回 〔掘削後〕		
									・出来映えの 撮影 ・TS等の設置 状況と出来形 計測対象点上 のプリズムの 設置状況(プ リズムが必要 な場合のみ) がわかるよう に撮影
									「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)土工編 多点計測技術(面管理の場合)」における空中写真測量(UAV)」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。



## (旧)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	4 基 礎 工	9		鋼管矢板基礎工	沓	1基毎に1回 〔据付後〕	全枚数	
						根入長 偏心量 鉄筋組立状況	1基毎に1回 〔設置後〕		
						載荷状況	1基に1回 〔載荷時〕		
						封鎖コンクリート 打設状況 中埋状況	1基に1回 〔施工時〕		
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	5 法 面 工	2		法面整形工 (盛土部)	仕上げ状況 厚さ	100m又は1施工箇所 に1回 〔仕上げ時〕	代表箇所 各1枚	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	5 法 面 工	3	1	法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工)	法長、 幅、 高さ、 吹付枠中心間 隔	100m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕  ただし、「空中写真測量 (無人航空機)を用いた 出来形管理要領(土工 編)(案)」に基づき写真 測量に用いた画像を納品 する場合には、写真管理 に代えることができる。	代表箇所 各1枚	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	5 法 面 工	3	2	法枠工 (プレキャスト法枠 工)	法長	100m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	5 法 面 工	6		吹付工 (コンクリート) (モルタル)	清掃状況	200㎡又は1施工箇所 に1回 〔清掃後〕	代表箇所 各1枚	
						ラス鉄網の重 ね合せ寸法	200㎡又は1施工箇所 に1回 〔吹付前〕		
						法長	200㎡又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕		
						厚さ(検測 孔)	200㎡又は1施工箇所 に1回 〔吹付後〕		
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	5 法 面 工	7	1	植生工 (種子散布工) (張芝工) (筋芝工) (市松芝工) (植生シート、マット工) (種子帯工) (人工張芝工) (植生穴工)	材料使用量	1工事に1回 〔混合前〕	代表箇所 各1枚	
						土羽土の厚さ	200㎡又は1施工箇所 に1回 〔施工中〕		
						法長	200㎡又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕		

## (新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕		
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	4 基 礎 工	9		鋼管矢板基礎工	沓	1基毎に1回 〔据付後〕		
						根入長 偏心量 鉄筋組立状況	1基毎に1回 〔設置後〕		
						載荷状況	1基に1回 〔載荷時〕		
						封鎖コンクリート 打設状況 中埋状況	1基に1回 〔施工時〕		
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	5 法 面 工	2		法面整形工 (盛土部)	仕上げ状況 厚さ	100m又は1施工箇所 に1回 〔仕上げ時〕		
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	5 法 面 工	3	1	法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工)	法長、 幅、 高さ、 吹付枠中心間 隔	100m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕  ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)法面工編」 に基づき写真測量に用いた画像を納品 する場合には、写真管理に代えるこ とができる。		
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	5 法 面 工	3	2	法枠工 (プレキャスト法枠 工)	法長	100m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕		
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	5 法 面 工	6		吹付工 (コンクリート) (モルタル)	清掃状況	200㎡又は1施工箇所 に1回 〔清掃後〕		
						ラス鉄網の重 ね合せ寸法	200㎡又は1施工箇所 に1回 〔吹付前〕		
						法長	200㎡又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕		
						厚さ(検測 孔)	200㎡又は1施工箇所 に1回 〔吹付後〕		
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	5 法 面 工	7	1	植生工 (種子散布工) (張芝工) (筋芝工) (市松芝工) (植生シート、マット工) (種子帯工) (人工張芝工) (植生穴工)	材料使用量	1工事に1回 〔混合前〕		
						土羽土の厚さ	200㎡又は1施工箇所 に1回 〔施工中〕		
						法長	200㎡又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕		

(旧)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
3	3	8	5	1	アスファルト舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況 修正状況 厚さ 幅	各層毎200mに1回 〔施工中〕 各層毎200mに1回 〔修正後〕 各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「T S等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「T S(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回〔修正後〕 各層毎40mに1回〔修正後〕 ただし、「T S等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「T S(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回〔修正後〕	代表箇所各1枚	

(新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕		
3	3	8	5	1	アスファルト舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況 修正状況 厚さ 幅	各層毎200mに1回 〔施工中〕 各層毎200mに1回 〔修正後〕 各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回〔修正後〕 各層毎40mに1回〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回〔修正後〕		

## (旧)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
3	3	8	5	2	アスファルト舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況 修正状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕 各層毎200mに1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	
					厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「T S等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「T S(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			
					幅	各層毎40mに1回 〔修正後〕 ただし、「T S等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「T S(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			

## (新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕		
3	3	8	5	2	アスファルト舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況 修正状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕 各層毎200mに1回 〔修正後〕		
					厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			
					幅	各層毎40mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			

(旧)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
3	3	8	5	3	アスファルト舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定 処理工	敷均し厚さ 転圧状況 修正状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕 各層毎200mに1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	
					厚さ	1,000㎡に1回 ※コアを採取した場合は 写真不要 〔修正後〕 ただし、「T S等光波方 式を用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上型レー ザースキャナーを用いた 出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「地上移 動体搭載型レーザース キャナーを用いた出来形 管理要領(舗装工事編) (案)」、「T S(ノンブ リズム方式)を用いた出 来形管理要領(舗装工事 編)(案)」により「厚さ あるいは標高較差」を管 理する場合は各層毎1工 事に1回 〔修正後〕			
					幅	各層毎40mに1回 〔修正後〕 ただし、「T S等光波方 式を用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上型レー ザースキャナーを用いた 出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「地上移 動体搭載型レーザース キャナーを用いた出来形 管理要領(舗装工事編) (案)」、「T S(ノンブ リズム方式)を用いた出 来形管理要領(舗装工事 編)(案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕			

(新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕		
3	3	8	5	3	アスファルト舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安 定処理工	敷均し厚さ 転圧状況 修正状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕 各層毎200mに1回 〔修正後〕		
					厚さ	1,000㎡に1回 ※コアを採取した場合は 写真は不要 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ り「厚さあるいは標高較差」を管 理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			
					幅	各層毎40mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ る場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			

(旧)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	5	4	アスファルト舗装工 (加熱アスファルト安 定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況 修正状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕 各層毎200mに1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	
					幅	各層毎40mに1回 〔修正後〕 ただし、「T S等光波方 式を用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上型レー ザースキャナーを用いた 出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「地上移 動体搭載型レーザース キャナーを用いた出来形 管理要領(舗装工事編) (案)」、「T S(ノンブ リズム方式)を用いた出 来形管理要領(舗装工事 編)(案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕			
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	5	5	アスファルト舗装工 (基層工)	修正状況	200mに1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	
					タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			
					幅	各層毎40mに1回 〔修正後〕 ただし、「T S等光波方 式を用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上型レー ザースキャナーを用いた 出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「地上移 動体搭載型レーザース キャナーを用いた出来形 管理要領(舗装工事編) (案)」、「T S(ノンブ リズム方式)を用いた出 来形管理要領(舗装工事 編)(案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕			

(新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕		
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	5	4	アスファルト舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況 修正状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕 各層毎200mに1回 〔修正後〕	ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ る場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	
					幅	各層毎40mに1回 〔修正後〕			
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	5	5	アスファルト舗装工 (基層工)	修正状況	200mに1回 〔修正後〕	ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ る場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	
					タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			
					幅	各層毎40mに1回 〔修正後〕			

## (旧)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
3 工 事 共 通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	5	6	アスファルト舗装工 (表層工)	修正状況	200mに1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	
					タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			
					平坦性	1工事1回 〔実施中〕			
3 工 事 共 通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	6	1	コンクリート舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
					修正状況	各層毎200mに1回 〔修正後〕			
					厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「T S等光波方 式を用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上型レー ザースキャナーを用いた 出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「地上移 動体搭載型レーザース キャナーを用いた出来形 管理要領(舗装工事編) (案)」、「T S(ノンブ リズム方式)を用いた出 来形管理要領(舗装工 事編)(案)」により「厚さ あるいは標高較差」を管 理する場合は各層毎1工 事に1回 〔修正後〕			
					幅	各層毎40mに1回 〔修正後〕 ただし、「T S等光波方 式を用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上型レー ザースキャナーを用いた 出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「地上移 動体搭載型レーザース キャナーを用いた出来形 管理要領(舗装工事編) (案)」、「T S(ノンブ リズム方式)を用いた出 来形管理要領(舗装工 事編)(案)」による場合 は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			

## (新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕		
3 工 事 共 通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	5	6	アスファルト舗装工 (表層工)	修正状況	200mに1回 〔修正後〕		
					タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			
					平坦性	1工事1回 〔実施中〕			
3 工 事 共 通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	6	1	コンクリート舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕		
					修正状況	各層毎200mに1回 〔修正後〕			
					厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ り「厚さあるいは標高較差」を管 理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			
					幅	各層毎40mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ る場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			

(旧)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
3	3	8	6	2	コンクリート舗装工 (粒度調整路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況 修正状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕 各層毎200mに1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	
					厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「T S等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「T S(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			
					幅	各層毎40mに1回 〔修正後〕 ただし、「T S等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「T S(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			

(新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕		
3	3	8	6	2	コンクリート舗装工 (粒度調整路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況 修正状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕 各層毎200mに1回 〔修正後〕		
					厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			
					幅	各層毎40mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			

(旧)

(新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
3	3	8	6	3	コンクリート舗装工 (セメント(石灰・瀝 青)安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況 修正状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕 各層毎200mに1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	
					厚さ	1,000㎡に1回 ※コアを採取した場合は 写真不要 〔修正後〕 ただし、「T S等光波方 式を用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上型レー ザースキャナーを用いた 出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「地上移 動体搭載型レーザース キャナーを用いた出来形 管理要領(舗装工事編) (案)」、「T S(ノンブ リズム方式)を用いた出 来形管理要領(舗装工事 編)(案)」により「厚さ あるいは標高較差」を管 理する場合は各層毎1工 事に1回 〔修正後〕			
					幅	各層毎40mに1回 〔修正後〕 ただし、「T S等光波方 式を用いた出来形管理要 領(舗装工事編) (案)」、「地上型レー ザースキャナーを用いた 出来形管理要領(舗装工 事編)(案)」、「地上移 動体搭載型レーザース キャナーを用いた出来形 管理要領(舗装工事編) (案)」、「T S(ノンブ リズム方式)を用いた出 来形管理要領(舗装工事 編)(案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕			

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕		
3	3	8	6	3	コンクリート舗装工 (セメント(石灰・瀝 青)安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況 修正状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕 各層毎200mに1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	
					厚さ	1,000㎡に1回 ※コアを採取した場合は 写真不要 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ り「厚さあるいは標高較差」を管 理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			
					幅	各層毎40mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ る場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			

(旧)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
3 工 事 共 通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	6	4	コンクリート舗装工 (アスファルト中間層)	修正状況 200mに1回 〔修正後〕  タックコート、 プライムコート 幅 各層毎40mに1回 〔修正後〕 ただし、「T S等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「T S(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回〔修正後〕	代表箇所 各1枚		
					コンクリート舗装工 (コンクリート舗装版工)	石粉、 グライムコート スリップバー、 タイバー寸法、 位置 鉄網寸法 位置 平坦性 厚さ 目地段差			各層毎に1回 〔散布時〕 40mに1回 〔据付後〕 40mに1回 〔据付後〕 1工事に1回 〔実施中〕 各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「T S等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「T S(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回〔修正後〕 1工事に1回

(新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕		
3 工 事 共 通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	6	4	コンクリート舗装工 (アスファルト中間層)	修正状況 200mに1回 〔修正後〕  タックコート、 プライムコート 幅 各層毎40mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回〔修正後〕			
					コンクリート舗装工 (コンクリート舗装版工)	石粉、 グライムコート スリップバー、 タイバー寸法、 位置 鉄網寸法 位置 平坦性 厚さ 目地段差			各層毎に1回 〔散布時〕 40mに1回 〔据付後〕 40mに1回 〔据付後〕 1工事に1回 〔実施中〕 各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回〔修正後〕 1工事に1回

(旧)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
3	3	8	6	6	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート 版工) 下層路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領(舗装工事編) (案)」、「地上型レー ザースキャナーを用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領 (舗装工事編) (案)」、「TS(ノン プリズム方式)を用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」によ り「厚さあるいは標高 較差」を管理する場 合は各層毎1工事に1 回 〔整正後〕		
					幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領(舗装工事編) (案)」、「地上型レー ザースキャナーを用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領 (舗装工事編) (案)」、「TS(ノン プリズム方式)を用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」によ る場合は各層毎1工事に 1回 〔整正後〕			

(新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕		
3	3	8	6	6	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート 版工) 下層路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ り「厚さあるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
					幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ る場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕			

(旧)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
3	3	8	6	7	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート 版工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領(舗装工事編) (案)」、「地上型レー ザースキャナーを用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領 (舗装工事編) (案)」、「TS(ノン プリズム方式)を用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」によ り「厚さあるいは標高 較差」を管理する場 合は各層毎1工事に1 回 〔整正後〕		
					幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領(舗装工事編) (案)」、「地上型レー ザースキャナーを用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領 (舗装工事編) (案)」、「TS(ノン プリズム方式)を用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」によ る場合は各層毎1工事に 1回 〔整正後〕			

(新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕		
3	3	8	6	7	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート 版工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ り「厚さあるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
					幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ る場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕			

(旧)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
3	3	8	6	8	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート 版工) セメント(石灰・瀝 青)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	代表写真 各1枚	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	1,000㎡に1回 ※コアを採取した場合は写真不要 〔整正後〕 ただし、「T S等光波 方式を用いた出来形管 理要領(舗装工事編) (案)」、「地上型レー ザースキャナーを用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領 (舗装工事編) (案)」、「T S(ノン プリズム方式)を用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」によ り「厚さあるいは標高 較差」を管理する場 合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
			幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「T S等光波 方式を用いた出来形管 理要領(舗装工事編) (案)」、「地上型レー ザースキャナーを用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領 (舗装工事編) (案)」、「T S(ノン プリズム方式)を用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」によ る場合は各層毎1工事に 1回 〔整正後〕					

(新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕		
3	3	8	6	8	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート 版工) セメント(石灰・瀝 青)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	代表写真 各1枚	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	1,000㎡に1回 ※コアを採取した場合は写真不要 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ り「厚さあるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
			幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ る場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕					

(旧)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
3	3	8	6	9	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート 版工) アスファルト中間層	修正状況	200mに1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	
					タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			
幅	各層毎40mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領(舗装工事編) (案)」、「地上型レー ザースキャナーを用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領 (舗装工事編) (案)」、「TS(ノン プリズム方式)を用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」によ る場合は各層毎1工事 に1回 〔修正後〕								
3	3	8	6	10	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート 版工)	敷均し厚さ 転圧状況	200mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
					厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領(舗装工事編) (案)」、「地上型レー ザースキャナーを用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領 (舗装工事編) (案)」、「TS(ノン プリズム方式)を用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」によ り「厚さあるいは標高 較差」を管理する場 合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			
					平坦性	1工事1回 〔実施中〕			

(新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕		
3	3	8	6	9	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート 版工) アスファルト中間層	修正状況	200mに1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	
					タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			
幅	各層毎40mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ る場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕								
3	3	8	6	10	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート 版工)	敷均し厚さ 転圧状況	200mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
					厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ り「厚さあるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			
					平坦性	1工事1回 〔実施中〕			

(旧)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
3	3	8	6	11	コンクリート舗装工 (連続鉄筋コンクリート舗装工)	石粉、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	代表箇所 各1枚	
						鉄筋寸法、位 置	80mに1回 〔据付後〕		
					横膨張目地部 ダウエルバー 寸法、位置	1施工箇所に1回 〔据付後〕			
					縦そり突合せ 目地部・縦そり ダミー目地部 タイバー寸 法、位置	80mに1回 〔据付後〕			
					平坦性	1工事に1回〔実施 中〕			
					厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 〔スリップフォーム工 法の場合は打設前後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領（舗装工事編） （案）」、「地上型レー ザースキャナーを用い た出来形管理要領（舗 装工事編）（案）」、 「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領 （舗装工事編）（案）」 により「厚さあるいは標高 較差」を管理する場 合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			
					目地段差	1工事に1回			
3	3	8	7	1	薄層カラー舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ	各層毎200mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						転圧状況	各層毎200mに1回 〔修正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕		
						幅	各層毎40mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領（舗装工事編） （案）」による場合は各 層毎1工事に1回 〔修正後〕		

(新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3	3	8	6	11	コンクリート舗装工 (連続鉄筋コンクリート舗装工)	石粉、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						鉄筋寸法、位 置	80mに1回 〔据付後〕	
						横膨張目地部 ダウエルバー 寸法、位置	1施工箇所に1回 〔据付後〕	
						縦そり突合せ 目地部・縦そり ダミー目地部 タイバー寸 法、位置	80mに1回 〔据付後〕	
						平坦性	1工事に1回〔実施 中〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 〔スリップフォーム工 法の場合は打設前後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多 点計測技術（面管理の場合）」に より「厚さあるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	
						目地段差	1工事に1回	
						3	3	
					転圧状況	各層毎200mに1回 〔修正後〕		
					厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕		
					幅	各層毎40mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多 点計測技術（面管理の場合）」に よる場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		

(旧)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
3 工事共 通編	3 一般施 工	8 一般舗 装工	7	2	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領(舗装工事編) (案)」による場合は各 層毎1工事に1回 〔整正後〕								
3 工事共 通編	3 一般施 工	8 一般舗 装工	7	3	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安 定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	1,000㎡に1回 ※コアを採取した場 合は写真不要 〔整正後〕		
幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領(舗装工事編) (案)」による場合は各 層毎1工事に1回 〔整正後〕								
3 工事共 通編	3 一般施 工	8 一般舗 装工	7	4	薄層カラー舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領(舗装工事編) (案)」による場合は各 層毎1工事に1回 〔整正後〕		

(新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕		
3 工事共 通編	3 一般施 工	8 一般舗 装工	7	2	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕		ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ る場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕		
3 工事共 通編	3 一般施 工	8 一般舗 装工	7	3	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安 定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕		ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ る場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	1,000㎡に1回 ※コアを採取した場 合は写真不要 〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ る場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 工事共 通編	3 一般施 工	8 一般舗 装工	7	4	薄層カラー舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕		ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ る場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ る場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

(旧)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
3 工 事 共 通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	7	5	薄層カラー舗装工 (基層工)	校正状況	200㎡に1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						厚さ	1,000㎡に1回 〔修正後〕		
						幅	各層毎40㎡に1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領（舗装工事編） （案）」による場合は各 層毎1工事に1回 〔修正後〕		
3 工 事 共 通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	8	1	ブロック舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200㎡に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						校正状況	各層毎200㎡に1回 〔修正後〕		
						厚さ	各層毎200㎡に1回 〔修正後〕		
						幅	各層毎40㎡に1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領（舗装工事編） （案）」による場合は各 層毎1工事に1回 〔修正後〕		
3 工 事 共 通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	8	2	ブロック舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200㎡に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						校正状況	各層毎200㎡に1回 〔修正後〕		
						厚さ	各層毎200㎡に1回 〔修正後〕		
						幅	各層毎40㎡に1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領（舗装工事編） （案）」による場合は各 層毎1工事に1回 〔修正後〕		

(新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕		
3 工 事 共 通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	7	5	薄層カラー舗装工 (基層工)	校正状況	200㎡に1回 〔修正後〕		
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						厚さ	1,000㎡に1回 〔修正後〕		
						幅	各層毎40㎡に1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多 点計測技術（面管理の場合）」に よる場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		
3 工 事 共 通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	8	1	ブロック舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200㎡に1回 〔施工中〕		
						校正状況	各層毎200㎡に1回 〔修正後〕		
						厚さ	各層毎200㎡に1回 〔修正後〕		
						幅	各層毎40㎡に1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多 点計測技術（面管理の場合）」に よる場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		
3 工 事 共 通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	8	2	ブロック舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200㎡に1回 〔施工中〕		
						校正状況	各層毎200㎡に1回 〔修正後〕		
						厚さ	各層毎200㎡に1回 〔修正後〕		
						幅	各層毎40㎡に1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多 点計測技術（面管理の場合）」に よる場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		

(旧)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	8	3	ブロック舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰) 安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 ※コアを採取した場合は 写真不要 〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「T S等光波 方式を用いた出来形管 理要領(舗装工事編) (案)」による場合は各 層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	8	4	ブロック舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「T S等光波 方式を用いた出来形管 理要領(舗装工事編) (案)」による場合は各 層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	8	5	ブロック舗装工 (基層工)	整正状況	200mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	9 地 盤 改 良 工	2		路床安定処理工	施工厚さ 幅	40mに1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	9 地 盤 改 良 工	3		置換工	置換厚さ 幅	40m又は1施工箇所に 1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	9 地 盤 改 良 工	5		パイルネット工	厚さ 幅	40m又は1施工箇所に 1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	

(新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	8	3	ブロック舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰) 安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 ※コアを採取した場合は 写真不要 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」に よる場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	8	4	ブロック舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」に よる場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	8 一 般 舗 装 工	8	5	ブロック舗装工 (基層工)	整正状況	200mに1回 〔整正後〕	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	9 地 盤 改 良 工	2		路床安定処理工	施工厚さ 幅	40mに1回 〔施工後〕	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	9 地 盤 改 良 工	3		置換工	置換厚さ 幅	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	
3 工事 共通 編	3 一 般 施 工	9 地 盤 改 良 工	5		パイルネット工	厚さ 幅	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	

(旧)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
3	3	9	6		サンドマット工	施工厚さ 幅	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表写真 各1枚	
3	3	9	7		パーチカルドレーン 工 (サンドドレーン 工) (ペーパードレーン 工) (袋詰式サンドド レーン工) 締固め改良工 (サンドコンパク ションバイル工)	打込長さ 出来ばえ	200㎡又は1施工箇所 に1回 〔打込み前後〕	代表箇所 各1枚	
						杭径 位置・間隔	200㎡又は1施工箇所 に1回 〔打込後〕		
						砂の投入量	全数量 〔打込前後〕		
3	3	9	8		固結工 (粉体噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰バイル工)	位置・間隔 杭径	1施工箇所に1回 〔打込後〕	代表箇所 各1枚	
						深度	1施工箇所に1回 〔打込前後〕		
							ただし、(スラリー攪 拌工)において、「施 工履歴データを用いた 出来形管理要領(固結 工(スラリー攪拌工) 編)(案)」により出来 形管理資料を提出する 場合は、出来形管理に 関わる写真管理項目を 省略できる。		
3	3	9	9	1	固結工 (中層混合処理)	施工厚さ 幅	1,000m <sup>3</sup> ~4,000m <sup>3</sup> につ き1回、又は工延長40m(測 点間隔25mの場合は50m) につき1回。 〔施工厚さ 施工中〕 〔幅 施工後〕	代表箇所 各1枚	
							ただし、「施工履歴 データを用いた出来形 管理要領(表層安定処 理等・中層地盤改良工 事編)(案)」により出 来形管理資料を提出す る場合は、出来形管理 に関わる写真管理項目 を省略できる。		

(新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕		
3	3	9	6		サンドマット工	施工厚さ 幅	40m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕		
3	3	9	7		パーチカルドレーン 工 (サンドドレーン 工) (ペーパードレーン 工) (袋詰式サンドド レーン工) 締固め改良工 (サンドコンパク ションバイル工)	打込長さ 出来ばえ	200㎡又は1施工箇所 に1回 〔打込み前後〕	代表箇所 各1枚	
						杭径 位置・間隔	200㎡又は1施工箇所 に1回 〔打込後〕		
						砂の投入量	全数量 〔打込前後〕		
3	3	9	8		固結工 (粉体噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰バイル工)	位置・間隔 杭径	1施工箇所に1回 〔打込後〕	代表箇所 各1枚	
						深度	1施工箇所に1回 〔打込前後〕		
							ただし、(スラリー攪 拌工)において、「施 工履歴データを用いた 出来形管理要領(固結 工(スラリー攪拌工) 編)(案)」により出来 形管理資料を提出する 場合は、出来形管理に 関わる写真管理項目を 省略できる。		
3	3	9	9	1	固結工 (中層混合処理)	施工厚さ 幅	1,000m <sup>3</sup> ~4,000m <sup>3</sup> につ き1回、又は工延長40m(測 点間隔25mの場合は50m) につき1回。 〔施工厚さ 施工中〕 〔幅 施工後〕	代表箇所 各1枚	
							ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)表層安定処 理等・固結工(中層混合処理)編」に より出来形管理資料を提出する場 合は、出来形管理に関わる写真管 理項目を省略できる。		

(旧)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
3 工事 共通 編	4 共 通 施 工	4 道 路 関 係	27	1	半たわみ性舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領(舗装工事編) (案)」、「地上型レー ザースキャナーを用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領 (舗装工事編) (案)」、「TS(ノン プリズム方式)を用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」によ り「厚さあるいは標高 較差」を管理する場 合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
					幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領(舗装工事編) (案)」、「地上型レー ザースキャナーを用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領 (舗装工事編) (案)」、「TS(ノン プリズム方式)を用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」によ る場合は各層毎1工事に 1回 〔整正後〕			

(新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	4 共 通 施 工	4 道 路 関 係	27	1	半たわみ性舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ り「厚さあるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
					幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ る場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

(旧)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
3 工事 共通 編	4 共 通 施 工	4 道 路 関 係	27	2	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領（舗装工事編） （案）」、「地上型レー ザースキャナーを用い た出来形管理要領（舗 装工事編）（案）」、 「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領 （舗装工事編） （案）」、「TS（ノン プリズム方式）を用い た出来形管理要領（舗 装工事編）（案）」に より「厚さあるいは標高 較差」を管理する場 合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
					幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領（舗装工事編） （案）」、「地上型レー ザースキャナーを用い た出来形管理要領（舗 装工事編）（案）」、 「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領 （舗装工事編） （案）」、「TS（ノン プリズム方式）を用い た出来形管理要領（舗 装工事編）（案）」に よる場合は各層毎1工事に 1回 〔整正後〕			

(新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕		
3 工事 共通 編	4 共 通 施 工	4 道 路 関 係	27	2	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕		
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多 点計測技術（面管理の場合）」に より「厚さあるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
					幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多 点計測技術（面管理の場合）」に よる場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕			

(旧)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
3	4	4	27	3	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安 定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 ※コアを採取した場合は 写真不要 〔整正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領(舗装工事編) (案)」、「地上型レー ザースキャナーを用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領 (舗装工事編) (案)」、「TS(ノン プリズム方式)を用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」によ り「厚さあるいは標高 較差」を管理する場 合は各層毎1工事に1 回 〔整正後〕		
					幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領(舗装工事編) (案)」、「地上型レー ザースキャナーを用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領 (舗装工事編) (案)」、「TS(ノン プリズム方式)を用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」によ る場合は各層毎1工事に 1回 〔整正後〕			

(新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕		
3	4	4	27	3	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安 定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕		
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 ※コアを採取した場合は 写真不要 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ り「厚さあるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
					幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ る場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕			

(旧)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
3 工事 共通 編	4 共通 施工	4 道路 関係	27	4	半たわみ性舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領（舗装工事編） （案）」、「地上型レー ザースキャナーを用い た出来形管理要領（舗 装工事編）（案）」、 「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領 （舗装工事編） （案）」、「TS（ノン プリズム方式）を用い た出来形管理要領（舗 装工事編）（案）」に よる場合は各層毎1工 事に1回 〔整正後〕		
3 工事 共通 編	4 共通 施工	4 道路 関係	27	5	半たわみ性舗装工 (基層工)	整正状況	200mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
3 工事 共通 編	4 共通 施工	4 道路 関係	27	6	半たわみ性舗装工 (表層工)	整正状況	200mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						浸透性ミッド注入 状況	200mに1回 〔注入時〕		
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕		

(新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要	
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕		
3 工事 共通 編	4 共通 施工	4 道路 関係	27	4	半たわみ性舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多 点計測技術（面管理の場合）」に よる場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 工事 共通 編	4 共通 施工	4 道路 関係	27	5	半たわみ性舗装工 (基層工)	整正状況	200mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
3 工事 共通 編	4 共通 施工	4 道路 関係	27	6	半たわみ性舗装工 (表層工)	整正状況	200mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						浸透性ミッド注入 状況	200mに1回 〔注入時〕		
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕		

(旧)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
3 工事 共通 編	4 共 通 施 工	4 道 路 関 係	28	1	排水性舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	代表写真 各1枚	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領(舗装工事編) (案)」、「地上型レー ザースキャナーを用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領 (舗装工事編) (案)」、「TS(ノン プリズム方式)を用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」によ り「厚さあるいは標高 較差」を管理する場 合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
					幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領(舗装工事編) (案)」、「地上型レー ザースキャナーを用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領 (舗装工事編) (案)」、「TS(ノン プリズム方式)を用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」によ る場合は各層毎1工事に 1回 〔整正後〕			

(新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕		
3 工事 共通 編	4 共 通 施 工	4 道 路 関 係	28	1	排水性舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕		
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ り「厚さあるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
					幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ る場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕			

(旧)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
3 工 事 共 通 編	4 共 通 施 工	4 道 路 関 係	28	2	排水性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領（舗装工事編） （案）」、「地上型レー ザースキャナーを用い た出来形管理要領（舗 装工事編）（案）」、 「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領 （舗装工事編） （案）」、「TS（ノン プリズム方式）を用い た出来形管理要領（舗 装工事編）（案）」に より「厚さあるいは標高 較差」を管理する場 合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
					幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領（舗装工事編） （案）」、「地上型レー ザースキャナーを用い た出来形管理要領（舗 装工事編）（案）」、 「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領 （舗装工事編） （案）」、「TS（ノン プリズム方式）を用い た出来形管理要領（舗 装工事編）（案）」に よる場合は各層毎1工 事に1回 〔整正後〕			

(新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕		
3 工 事 共 通 編	4 共 通 施 工	4 道 路 関 係	28	2	排水性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕		
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多 点計測技術（面管理の場合）」に より「厚さあるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
					幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多 点計測技術（面管理の場合）」に よる場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕			

(旧)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
3 工 事 共 通 編	4 共 通 施 工	4 道 路 関 係	28	3	排水性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰) 安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	代表写真 各1枚	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 ※コアを採取した場合は 写真不要 〔整正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領(舗装工事編) (案)」、「地上型レー ザースキャナーを用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領 (舗装工事編) (案)」、「TS(ノン プリズム方式)を用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」によ り「厚さあるいは標高 較差」を管理する場 合は各層毎1工事に1 回 〔整正後〕		
		幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領(舗装工事編) (案)」、「地上型レー ザースキャナーを用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、 「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領 (舗装工事編) (案)」、「TS(ノン プリズム方式)を用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」によ る場合は各層毎1工事に 1回 〔整正後〕						

(新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕		
3 工 事 共 通 編	4 共 通 施 工	4 道 路 関 係	28	3	排水性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰) 安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	代表写真 各1枚	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 ※コアを採取した場合は 写真不要 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ り「厚さあるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
		幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ る場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕						

(旧)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
3 工事 共通 編	4 共 通 施 工	4 道 路 関 係	28	4	排水性舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	代表写真 各1枚	
						修正状況	各層毎200mに1回 〔修正後〕		
						幅	各層毎40mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領(舗装工事編) (案)」、「地上型レー ザースキャナーを用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」、「 地上移動体搭載型 レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領 (舗装工事編) (案)」、「TS(ノン プリズム方式)を用い た出来形管理要領(舗 装工事編)(案)」によ る場合は各層毎1工事に 1回 〔修正後〕		
3 工事 共通 編	4 共 通 施 工	4 道 路 関 係	28	5	排水性舗装工 (基層工)	修正状況	200mに1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
3 工事 共通 編	4 共 通 施 工	4 道 路 関 係	28	6	排水性舗装工 (表層工)	修正状況	200mに1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕		

(新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要	
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕		
3 工事 共通 編	4 共 通 施 工	4 道 路 関 係	28	4	排水性舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						修正状況	各層毎200mに1回 〔修正後〕		
						幅	各層毎40mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ る場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		
3 工事 共通 編	4 共 通 施 工	4 道 路 関 係	28	5	排水性舗装工 (基層工)	修正状況	200mに1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
3 工事 共通 編	4 共 通 施 工	4 道 路 関 係	28	6	排水性舗装工 (表層工)	修正状況	200mに1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕		

(旧)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
3 工事 共通 編	4 共通 施工	4 道路 関係	29	1	グースアスファルト 舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領（舗装工事編） （案）」、「地上型レー ザースキャナーを用い た出来形管理要領（舗 装工事編）（案）」、 「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領 （舗装工事編） （案）」、「TS（ノン プリズム方式）を用い た出来形管理要領（舗 装工事編）（案）」に よる場合は各層毎1工 事に1回 〔整正後〕		
3 工事 共通 編	4 共通 施工	4 道路 関係	29	2	グースアスファルト 舗装工 (基層工)	整正状況	200mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
3 工事 共通 編	4 共通 施工	4 道路 関係	29	3	グースアスファルト 舗装工 (表層工)	整正状況	200mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕		

(新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要	
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕		
3 工事 共通 編	4 共通 施工	4 道路 関係	29	1	グースアスファルト 舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多 点計測技術（面管理の場合）」に よる場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 工事 共通 編	4 共通 施工	4 道路 関係	29	2	グースアスファルト 舗装工 (基層工)	整正状況	200mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
3 工事 共通 編	4 共通 施工	4 道路 関係	29	3	グースアスファルト 舗装工 (表層工)	整正状況	200mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕		

(旧)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
3 工事 共通 編	4 共通 施工	4 道路 関係	30	1	透水性舗装工 路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	代表写真 各1枚	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領（舗装工事編） （案）」、「地上型レー ザースキャナーを用い た出来形管理要領（舗 装工事編）（案）」、 「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領 （舗装工事編） （案）」、「TS（ノン プリズム方式）を用い た出来形管理要領（舗 装工事編）（案）」に より「厚さあるいは標高 較差」を管理する場 合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
					幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波 方式を用いた出来形管 理要領（舗装工事編） （案）」、「地上型レー ザースキャナーを用い た出来形管理要領（舗 装工事編）（案）」、 「地上移動体搭載型 レーザースキャナーを 用いた出来形管理要領 （舗装工事編） （案）」、「TS（ノン プリズム方式）を用い た出来形管理要領（舗 装工事編）（案）」に よる場合は各層毎1工事に 1回 〔整正後〕			
3 工事 共通 編	4 共通 施工	4 道路 関係	30	2	透水性舗装工 表層工	整正状況	200mに1回 〔整正後〕	代表写真 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕		

(新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	
3 工事 共通 編	4 共通 施工	4 道路 関係	30	1	透水性舗装工 路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎200mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多 点計測技術（面管理の場合）」に より「厚さあるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
					幅	各層毎40mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編 多 点計測技術（面管理の場合）」に よる場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
3 工事 共通 編	4 共通 施工	4 道路 関係	30	2	透水性舗装工 表層工	整正状況	200mに1回 〔整正後〕	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕	

## (旧)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
3	4	4	31		路面切削工	幅 厚さ(基準高)	100mに1回又は1施工 箇所1回 〔施工後〕 ただし、「T S等光波 方式を用いた出来形管 理要領(舗装工事編) (案)」による場合は1工 事に1回 〔施工後〕	代表写真 各1枚	
3	4	4	32		舗装打換え工	幅 延長 厚さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕		
3	4	4	33		オーバーレイ工	平坦性	1施工箇所に1回 〔実施中〕	代表箇所 各1枚	
						クックコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						整正状況	200mに1回 〔施工後〕		
3	4	4	34		落橋防止装置工	アンカーボルト 孔の削孔長	全数量 〔削孔後〕	代表箇所 各1枚	

## (新)

【第3編 工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕		
3	4	4	31		路面切削工	幅 厚さ(基準高)	100mに1回又は1施工箇所1回 〔施工後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)舗装工編 多 点計測技術(面管理の場合)」によ る場合は1工事に1回 〔施工後〕		
3	4	4	32		舗装打換え工	幅 延長 厚さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕		
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕		
3	4	4	33		オーバーレイ工	平坦性	1施工箇所に1回 〔実施中〕	代表箇所 各1枚	
						クックコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						整正状況	200mに1回 〔施工後〕		
3	4	4	34		落橋防止装置工	アンカーボルト 孔の削孔長	全数量 〔削孔後〕		

## (旧)

【第7編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度	
7	2	8	4	2	大型標識工 (標識柱工)	設置高さ	1 施工箇所につき1回 〔施工後〕	適宜	
7	2	11	5	1	ケーブル配管工	配管状況	100m又は1 施工箇所につき1回 〔施工後〕	不要	
7	2	11	5	2	ケーブル配管工 (ハンドホール)	厚さ 幅 高さ	100m又は1 施工箇所につき1回 〔施工後〕	不要	
7	2	11	6		照明工 (照明柱基礎工)	幅 高さ	基礎タイプ毎3 箇所に1回(施工前は必要に応じて) 〔施工前後〕	適宜	
7	3	3	3		鋼製橋脚製作工	原寸状況	1脚につき1回又は1 工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
						仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1脚につき1回又は1 工事に1回 〔仮組立時〕		
7	3	4	8		橋台躯体工	厚さ 天端幅(橋軸方向) 敷幅(橋軸方向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	
7	3	5	9	1	橋脚躯体工 (張出式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	

## (新)

【第7編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕		
7	2	8	4	2	大型標識工 (標識柱工)	設置高さ	1 施工箇所につき1回 〔施工後〕		
7	2	11	5	1	ケーブル配管工	配管状況	100m又は1 施工箇所につき1回 〔施工後〕		
7	2	11	5	2	ケーブル配管工 (ハンドホール)	厚さ 幅 高さ	100m又は1 施工箇所につき1回 〔施工後〕		
7	2	11	6		照明工 (照明柱基礎工)	幅 高さ	基礎タイプ毎3 箇所に1回(施工前は必要に応じて) 〔施工前後〕		
7	3	3	3		鋼製橋脚製作工	原寸状況	1脚につき1回又は1 工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
						仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1脚につき1回又は1 工事に1回 〔仮組立時〕		
7	3	4	8		橋台躯体工	厚さ 天端幅(橋軸方向) 敷幅(橋軸方向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案) 構造物工編 (試行)」により出来形管理資料を 提出する場合は、出来形計測状況を 1 工事 1回		
7	3	5	9	1	橋脚躯体工 (張出式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案) 構造物工編 (試行)」により出来形管理資料を 提出する場合は、出来形計測状況を 1 工事 1回		

## (旧)

## (新)

【第7編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕	代表写真 選定頻度		
7	道路編	3	5	9	2	橋脚躯体工 (ラーメン式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 長さ	全数量 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	
7	道路編	3	6	9	1	橋脚フーチング工 (I型・T型)	幅 高さ 長さ	全数量 〔型枠取外後〕	代表箇所 各1枚	
7	道路編	3	6	9	2	橋脚フーチング工 (門型)	幅 高さ	全数量 〔型枠取外後〕	代表箇所 各1枚	
7	道路編	3	6	10	1	橋脚架設工 (I型・T型)	架設状況	架設工法が変わる毎に 1回 〔架設中〕	代表箇所 各1枚	
7	道路編	3	6	10	2	橋脚架設工 (門型)	架設状況	架設工法が変わる毎に 1回 〔架設中〕	代表箇所 各1枚	
7	道路編	3	6	11		現場継手工	継手部のすき 間	1 施工箇所 に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
7	道路編	4	3	9		橋梁用高欄製作工	原寸状況	1 橋に1回又は1工 事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	
						製作状況	適宜 〔製作中〕			

【第7編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	
						撮影項目	撮影頻度 〔撮影時期〕			
7	道路編	3	5	9	2	橋脚躯体工 (ラーメン式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 長さ	全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)構造物工編 (試行)」により出来形管理資料を 提出する場合は、出来形計測状況を 1工事1回		
7	道路編	3	6	9	1	橋脚フーチング工 (I型・T型)	幅 高さ 長さ	全数量 〔型枠取外後〕		
7	道路編	3	6	9	2	橋脚フーチング工 (門型)	幅 高さ	全数量 〔型枠取外後〕		
7	道路編	3	6	10	1	橋脚架設工 (I型・T型)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕		
7	道路編	3	6	10	2	橋脚架設工 (門型)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕		
7	道路編	3	6	11		現場継手工	継手部のすき 間	1 施工箇所 に1回 〔施工後〕		
7	道路編	4	3	9		橋梁用高欄製作工	原寸状況	1 橋に1回又は1工 事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	
						製作状況	適宜 〔製作中〕			